MITSUBISHI

三菱 時間帯別電灯対応型 電気温水器 ダイヤホット

取扱説明書 時間帯別電灯対応 通電制御型

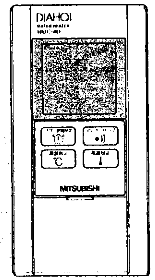
このたびは、三菱電気温水器(ダイヤホット)をお買上げいただきまして誠にありがとうございました。

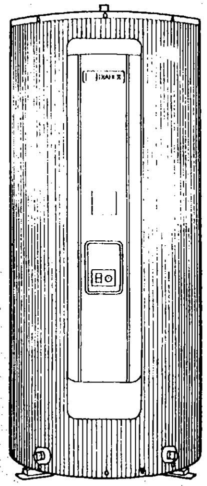
マイコン ダイヤホット

LB 認定品

屋内軒下兼用タイプ

形名
SRT-3744D-BL
SRT-4644D-BL
SRT-5544D-BL





この電気温水器は、申請によって通電制御型として料金割引きが適用されます。ご不明の場合は、必ず据付け工事店(販売店)または最寄りの電力会社にご相談ください。

- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・据付け工事店名(販売店名)」などの記入を確かめて、据付け工事店(販売店)からお受け取りください。
- 添付別紙の「三菱電機お客さま相談窓口一覧表」は、大切に保存してください。
- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)

もくじ

ページ

安全のために必ずお守りください……… 1～2

各部のなまえとはたらき… 3～6
- 本体
- 本体周辺部
- リモコン操作部
- リモコン表示部

ご使用方法…………………… 7～8
- 使用前の準備と給湯
- お湯の上手な使い方

リモコンの使い方………… 9～15
- 時刻設定
- 時間帯の表示
- 英数字の表示(エラー表示)
- 湯温設定
- 湯温表示
- 沸き増し設定
- お知らせブザーの設定
- 残湯量の表示

凍結防止について…………16～18
- 暖かい地域でご使用のお客さまも必ずお読みください。
- 凍結防止ヒーターによる方法
- 水抜きによる方法
- 少量の水を流し続ける方法

お手入れと定期点検のお願い…19～20
- 配管の点検
- タンクのお手入れ
- 漏電遮断器の点検
- 逃し弁の点検
- 水漏れの点検
- 定期点検のお願い(有料)

修理を依頼する前に………21～22
- こんなときは故障ではありません
- 故障かなと思ったら

長期間使用しないときには……23
- 1カ月以上のとき(タンク内の水抜きをします。)
- 1カ月以内のとき(電源を切ります。)

仕様…………………………………24

電気料金制度について…………25
- 「時間帯別電灯」料金制度
- 「深夜電力」制度

安全のために必ず お守りください

● ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ正しく安全にお使いください。

● ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

● 表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

● 本文中に使われる"図記号"の意味は次の通りです。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従い、行ってください。
	必ずアース工事を行ってください。

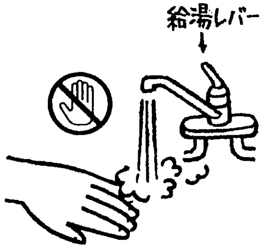
● お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

試運転は、据付け工事店の立会いのもとで行ってください。安全を確保するための正しい使い方について、据付け工事店から説明を受けてください。

⚠警告

やけどに注意

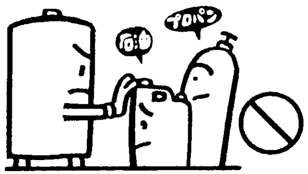
● 給湯時は、湯水混合栓に手を触れないでください。
● 排水時は、お湯に手を触れないでください。
● 逃し弁点検時は、逃し弁排水管に手を触れないでください。



給湯レバーを開くと湯水混合栓からお湯が出ます。特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が出ることがあります。

使用する水栓は、湯水混合栓をお勧めします。また浴室ではサーモスタット付混合栓等をお勧めします。

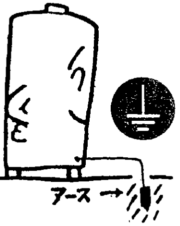
近くにガス類や引火物を置かない



置くと、発火・火災になることがあります。

アース工事を確認する

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
アースの取付けは据付け工事店か三菱電機サービスセンターまたは三菱電機お客さま相談窓口へお問合わせください。



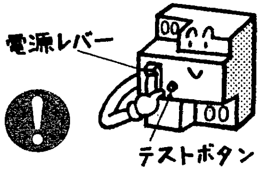
修理技術者以外の人は分解・修理・改造をしない

不備があると、発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

漏電遮断器の動作を確認する

19ページ

故障のまま使用すると、感電する恐れがあります。



前面カバーを開けない 3ページ

開けると、感電することがあります。

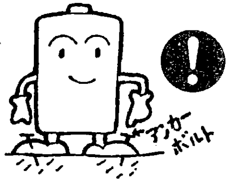
⚠注意

飲用はしない

水質が変化した場合、下痢、腹痛など、体をこわすことがあります。

脚がアンカーボルトで固定されているか確認する

固定されていないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。



床面が防水・排水処理されているか据付け工事店へ確認する

処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな被害につながる恐れがあります。

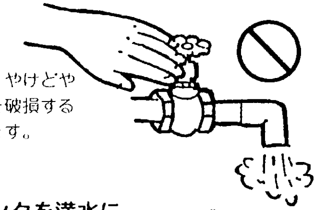
凍結防止対策の確認をする

凍結すると、配管が破裂して水漏れでやけどをすることがあります。

16ページ

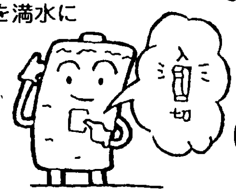
タンクの熱湯を直接排水しない

排水すると、やけどや排水管などを破損することがあります。



通電はタンクを満水にしてから行う

「空焼き」の場合、ヒーターが過熱して故障の原因になります。



1カ月以上使用しないときは電源を「切」にしてタンクの排水をする

排水しないと、水質が変化することがあります。 23ページ

逃し弁の点検をする 20ページ

点検しないと、タンクが破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

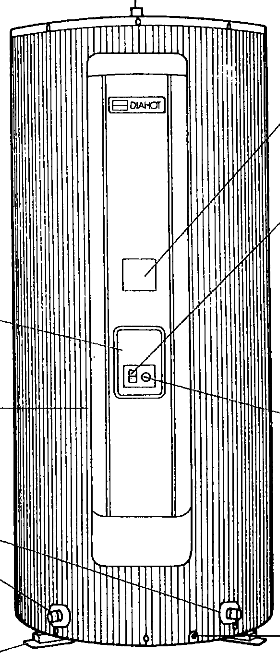
操作カバーは閉じる 3ページ

開けておくと、漏電や感電することがあります。

各部のなまえ とはたらき

本体

BL認定の範囲は本体、逃し弁、リモコンおよびリモコンケーブルです。配管、部材は含まれていません。



給湯口
本体からのお湯の出口です。

形名はここに書いてあります。

漏電遮断器 電源レバー
このレバーで電源を「入」「切」します。
使用中は常に「入」にしておきます。

操作カバー

前面カバー

漏電遮断器 テストボタン
万一漏電したときに動作するかをテストするボタンです。

給排水口
左右にあり、給水用と排水用に使い分けられます。

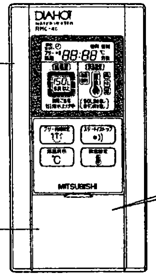
アース端子
本体を「接地」するためのアース線端子です。

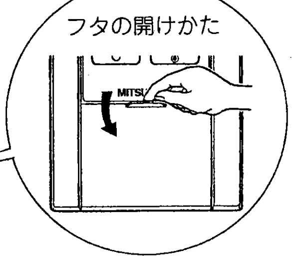
脚

リモコン

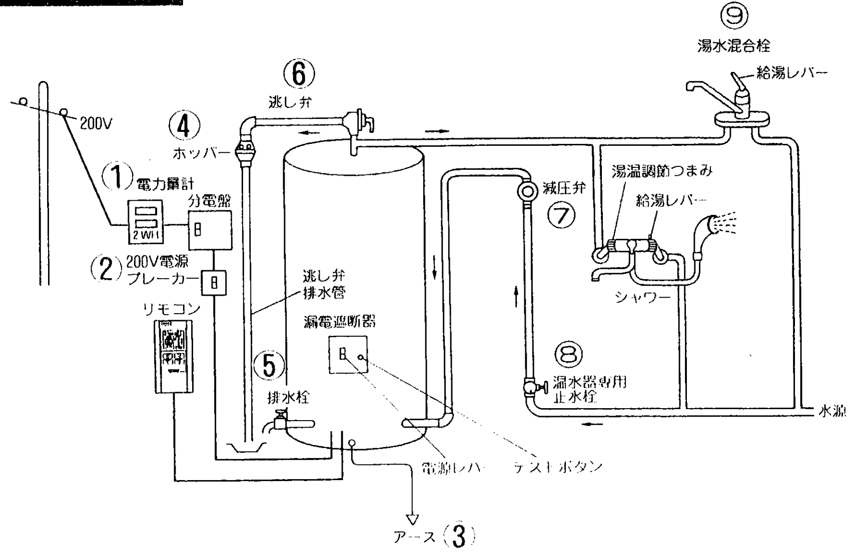
本体

フタ





本体周辺部



①電力量計(時間帯別)
時間帯別電灯制度で使用する電力量計。

②200V電源ブレーカー
200V電源の「入」、「切」をする。

③アース
万一の感電を防ぐ。

④ホッパー
排水管が凍結したときにも逃し弁からの膨張水が排水できるようにする。
また、タンク排水時に逃し弁からの空気取入れ口にもなる。

⑤排水栓
タンク内の水を排水するときに操作する。

⑥逃し弁
沸き上げ時の膨張水を排出しタンク内を一定圧力にする。

⑦減圧弁
タンク内への給水圧力を一定にする。

⑧温水器専用止水栓
タンク内への「給水」、「止水」に使う。

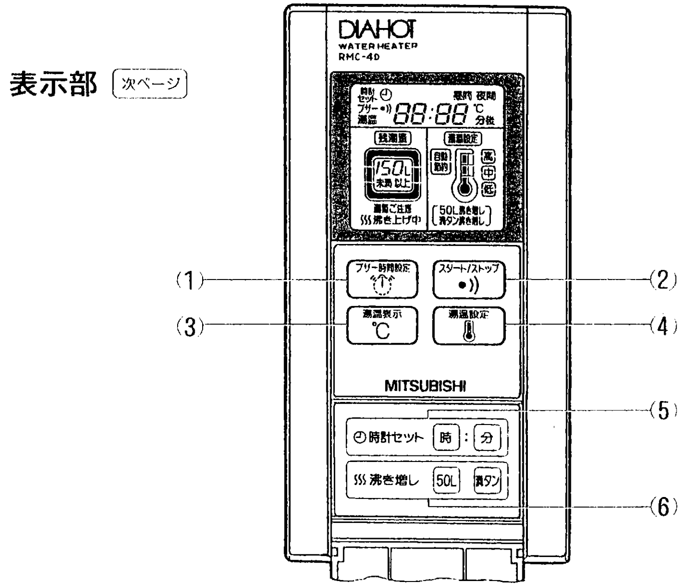
⑨湯水混合栓
お湯を取出す。

各部のなまえ とはたらき

リモコン操作部

（フタを開けたとき）

ページ は説明のあるページです。



(5)、(6)はフタを開けてご使用ください。

①ブザー時間設定スイッチ　14ページ

お知らせブザーを設定する。

②スタート/ストップスイッチ　14ページ

お知らせブザーをスタート／ストップさせる。

③湯温表示スイッチ　12ページ

現在時刻表示を湯温表示に切換える。

④湯温設定スイッチ　11ページ

沸き上げ湯温を設定する。

⑤時計セットスイッチ　9ページ

現在の時刻を設定する。

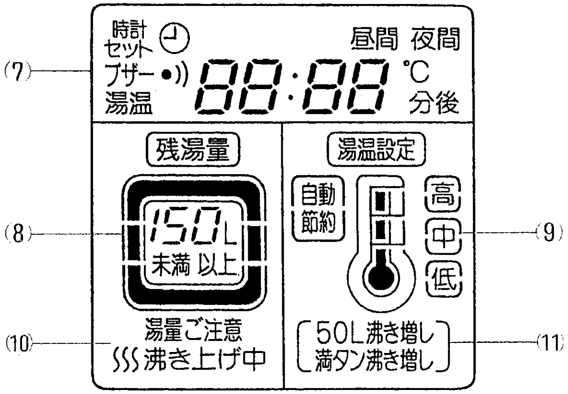
⑥沸き増しスイッチ　13ページ

沸き増しのときに使用する。

リモコン表示部

ページ は説明のあるページです。

（全点灯状態）



⑦デジタル表示部

現在時刻、湯温、ブザー時間などを表示する。

- 現在時刻……………… 9ページ
- 湯温…………………… 12ページ
- ブザー時間………… 14ページ
- 時間帯………………… 10ページ
- 英数字（エラー）…… 10ページ

⑧残湯量表示部　15ページ

タンク内の残湯量を表示する。

⑨湯温設定表示部　11、12ページ

沸き上げ湯温設定の状態を表示する。

⑩沸き上げ中表示部

沸き上げ中に点灯する。それ以外のときは消灯する。

⑪沸き増し表示部　13ページ

沸き増しを設定したときに表示する。

使用前の準備と給湯

使いはじめや水を抜いたときは次の手順で操作してください。((1)～(7)は右図と対応しています。)

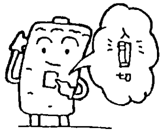
給水

(1)湯水混合栓やシャワーの湯温調節を「高」側にして給湯レバーを開く。
(2)温水器専用止水栓を開く。
(3)湯水混合栓やシャワーから水が出てきたら給湯レバーを閉じる。

空の状態から満水までは約30分～40分かかりますが、タンク容量や配管によって多少変わります。

⚠注意

通電はタンクを満水にしてから行ってください。「空焼き」の場合ヒーターが過熱して故障の原因になります。



運転

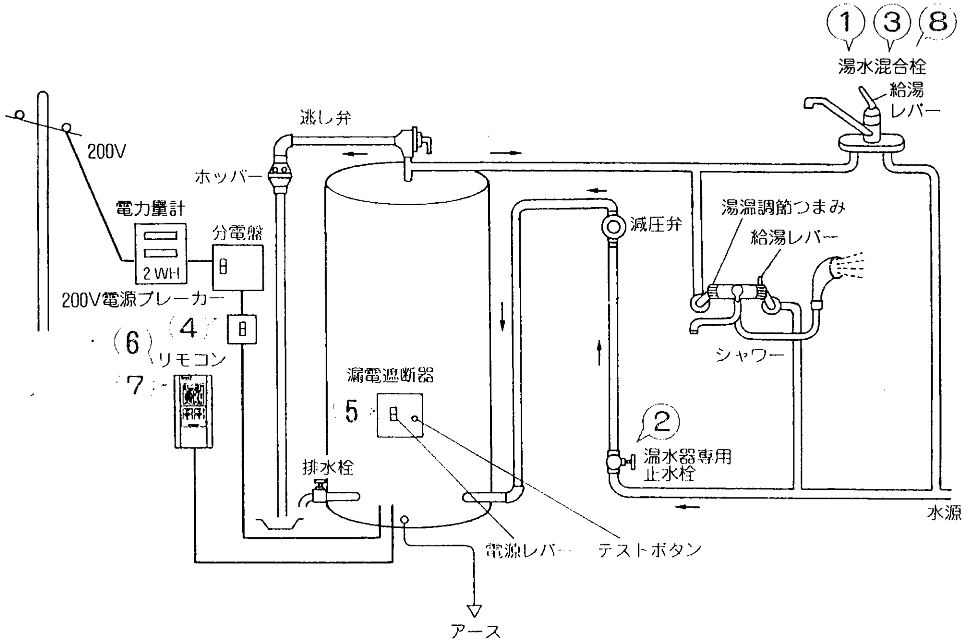
(4)200V電源ブレーカーを「入」にする。
(5)漏電遮断器の電源レバーを「入」にする。
(6)リモコンの時刻設定をする。(9ページ)
(7)リモコンで湯温設定をする。(11ページ)

お知らせ **給湯は翌朝から使用できます。**

給湯

(8)湯温調節を「低」側にしてから給湯レバーを開きちょうどよい湯温にする。

お知らせ **給湯すると温水器に自動的に給水されます。**

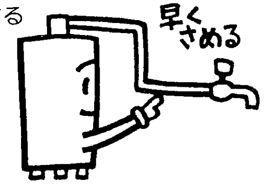


お湯の上手な使い方

特に冬期は水温が低くなり、ムダな使い方をしますと湯量不足になることがありますから上手に使いましょう。

●流し洗いはお湯のムダ使いになります。お湯は容器に受けて使いましょう。

●配管内のお湯は早くさめます。シャワーや湯水混合栓の開閉回数をできるだけ少なくすると効果的です。



●お風呂への足し湯は浴槽内の湯を少し減らしてから行うと節約できます。

●入浴はできるだけ夜間時間帯のヒーター通電中を避けて連続して行うようにしてください。
通電中にお湯を使うと翌日の湯温が低くなることがあります。

リモコンの使い方

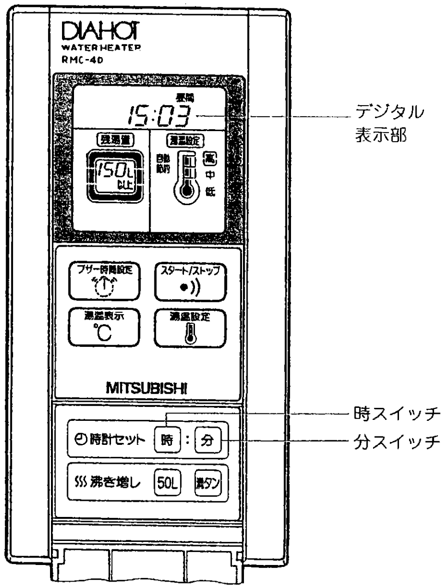
時刻設定

※時刻が設定されていないと沸き上げができません。

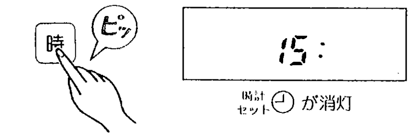
- 時刻が設定されていないと、沸き上げができませんので、必ず正しい時刻を設定してください。
- 正しい時刻に設定されていないと、昼夜間の判断が正しく行われず、電気料金が割高になります。

据付け後はじめてご使用になるときや長時間の停電後のデジタル表示部

（フタを開けたとき）

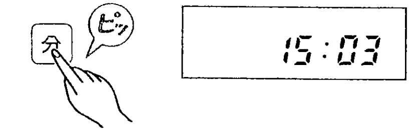


① 時 を押す



時スイッチを押すと表示部の「時」の位の数字が１進みます。
さらに時スイッチを押し続けると、「時」の位が"０"→"１"→"２"→……→"22"→"23"→"０"→…と切換わります。

② 分 を押す



分スイッチを押すと表示部の「分」の位の数字が１進みます。
さらに分スイッチを押し続けると、「分」の位が"00"→"01"→……→"58"→"59"→"00"→…と切換わります。

お願い **時刻表示は24時間表示です。午前と午後をまちがえないように正しく設定してください。**
例） 午後３時３分 → 15：03

お願い **時刻設定が終わったら必ずフタを閉めてください。**

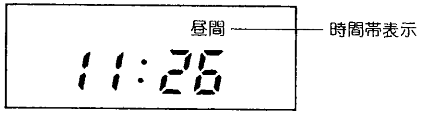
お願い **時刻を修正したい場合は、時スイッチ、分スイッチを押して時刻を設定してください。**

時間帯の表示

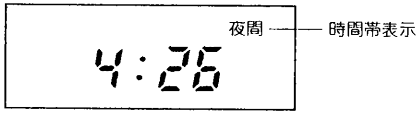
※「時間帯別電灯」料金制度で契約時のみ点灯します。

デジタル表示部

昼間

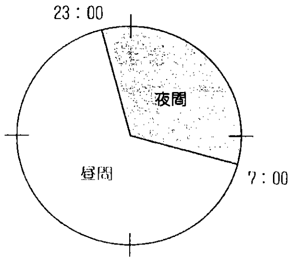


夜間



この製品では、時間帯を次のように初期設定してあります。

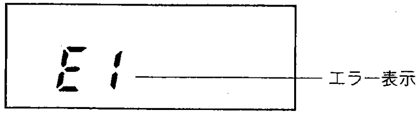
時間帯	時　　刻
昼間	7：00〜23：00
夜間	23：00〜 7：00



お知らせ **時間帯が表示されるのは、最初の電源「入」から24時間経過後です。**

英数字の表示（エラー表示）

デジタル表示部



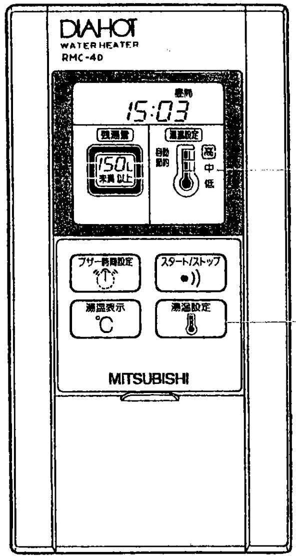
デジタル表示部が「E0」「E1」「E2」で点灯したときは、温度検知センサーの異常です。据付け工事店にご連絡ください。

表示	現　　象
E0	湯温表示をしない。50L沸き増しができない。
E1	お湯が沸かない。
E2	残湯量を正しく表示しない。

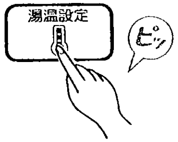
湯温設定

ご家庭の使用湯量に合わせて湯温を設定します。

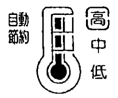
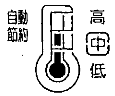
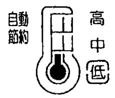
- 毎日の使用湯量がほぼ一定しているときには「自動節約」に設定すると維持費が節約できます。
- あらかじめ来客などで使用湯量が急増することが予想されるときや、熱いお湯が必要なときは、前日までに「高」に設定します。
- 使いはじめは「高」を設定し、残湯量が多い場合は順次低い湯温設定に切換えます。
- 給水水温10℃以下、残湯量20L未満（タンク容量が550Lの場合は60L未満）の場合は、90℃まで沸き上がりません。



(1) 湯温設定スイッチを押す



スイッチを押すごとに湯温設定表示が
"高"→"中"→"低"→"自動節約"→"高"→…
と切換わります。

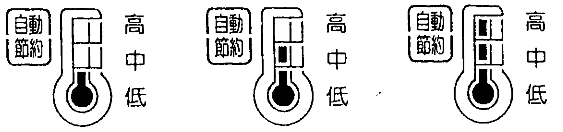
湯温設定表示部	沸き上げ湯温（めやす）
 自動節約 高 中 低	約90℃
 自動節約 高 中 低	約75℃
 自動節約 高 中 低	約55℃
自動節約 高 中 低	約60℃～約90℃

お知らせ **沸き上げ湯温は、沸き上げ直後のタンク内の湯温です。時間の経過とともに少しずつ低下します。また、湯温は2～3℃ばらつくことがあります。**

自動節約とは

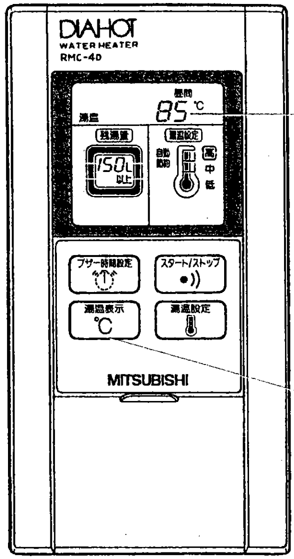
過去の使用湯量と給水水温から翌日の使用湯量を予測し、約60℃～約90℃の範囲で沸き上げます。
湯温設定表示部で沸き上げ湯温のめやすを表示します。

自動節約時の沸き上げ湯温（めやす）

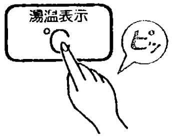


約60℃～約69℃　約70℃～約79℃　約80℃～約90℃

湯温表示



(1) 湯温表示スイッチを押す



デジタル表示部

お知らせ **湯温を約10秒間表示した後、時刻表示に戻ります。**

お知らせ **湯温表示はタンク内上部の湯温を示し、給湯栓から出るお湯は配管条件によって表示湯温よりも2～3℃低くなることがあります。**

リモコンの使い方

沸き増し設定

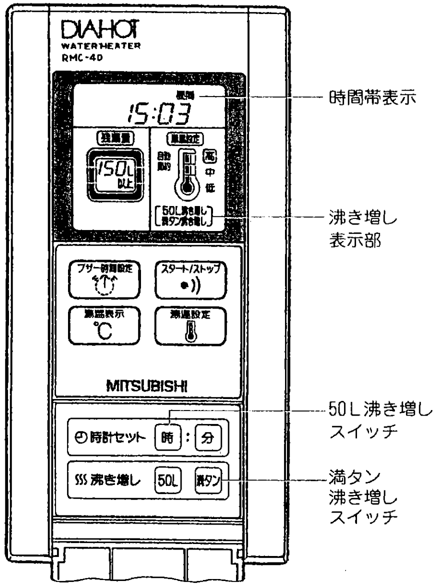
※「時間帯別電灯」料金制度で契約時のみ使用できます。

お湯が足りなくなる前に沸き増しをセットしておきます。

50L沸き増し……お湯を使い切ってしまうのが不安なとき。一度セットしておけば、毎日継続して約50L分のお湯の沸き増しを予約しておきます。

満タン沸き増し……来客などでお湯がたくさん必要なとき。一度セットすれば、その日1日は何回でも沸き増しを行います。

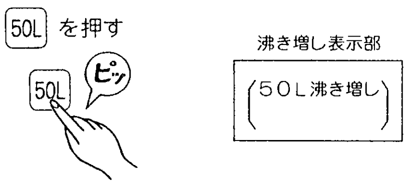
- 50L沸き増しと満タン沸き増しは両方設定できます。
- 沸き増しの場合、湯温設定表示の温度に沸き上げます。
- 昼間時間帯に（7：00～23：00）沸き増しを行うと電気料金が割高になります。



お知らせ　**最初の電源「入」から24時間経過し、時間帯の表示が点灯していないと使用できません。**

50L沸き増しの設定

① 50L を押す

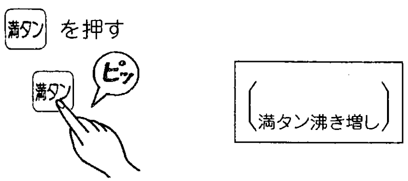


解除する場合はもう一度スイッチを押します。
（50L沸き増しが消灯します。）

お知らせ　**残湯が50Lを切ると自動的に沸き増しを開始します。50L沸き増しの設定は解除するまで継続します。**

満タン沸き増しの設定

① 満タン を押す

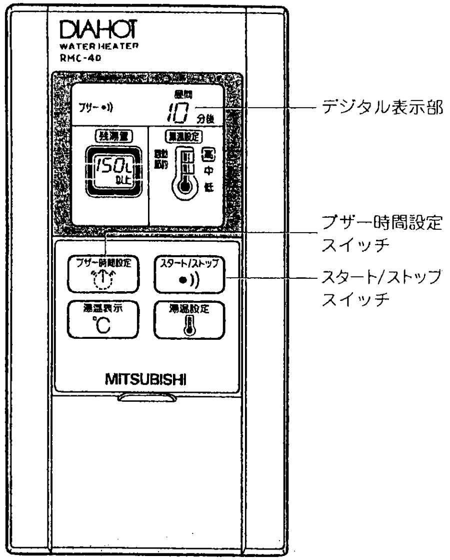


解除する場合はもう一度スイッチを押します。
（満タン沸き増しが消灯します。）

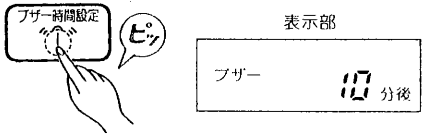
お知らせ　**23時になると満タン沸き増しの設定は自動的に解除されます。**

お知らせブザーの設定

お風呂の湯張り時間のお知らせなどにご使用ください。
一度ブザー時間を設定すれば、その後はスタート／ストップスイッチを押すだけで使用できます。設定した時間が経つとブザーが鳴ります。



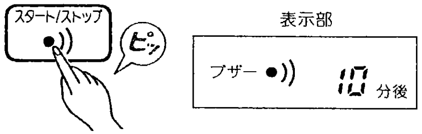
① ブザー時間設定スイッチを押す



スイッチを押すと表示部の「分」の位が点灯になります。
さらにスイッチを押し続けると、「分」の位が"10"→"11"→……→"29"→"30"→"00"→…と切換わります。

お知らせ　**時間は1分ごとに30分まで設定できます。**

② スタート／ストップスイッチを押す



「•))」点灯後、1分経過ごとに数字が減少します。設定時間になると「ピピピ　ピピピ…」が約10秒間鳴ります。

解除する場合はもう一度スイッチを押します。
（時刻表示に戻ります。）

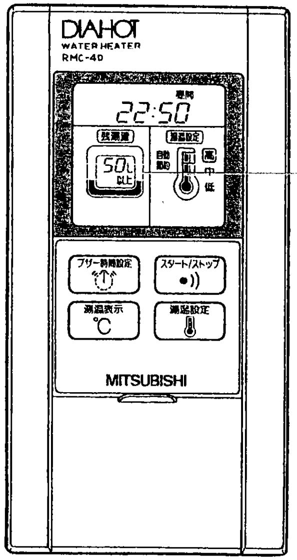
お知らせ　**ブザー時間設定後、スタート／ストップスイッチを押さないと、2～3分で時刻表示に戻ります。**

リモコンの使い方

残湯量の表示

タンク内に残っているお湯の量を残湯量表示部でお知らせします。
また、残湯量が少なくなると「湯量ご注意」が表示されます。

（フタを開けたとき）



残湯量表示部	残湯量
50L 未満 湯量ご注意	50L 未満
50L 以上	50L～100L
100L 以上	100L～150L
150L 以上	150L 以上

お知らせ　**残湯量表示が減ると、「ピーピー…」が約5秒間鳴ります。**

凍結防止について

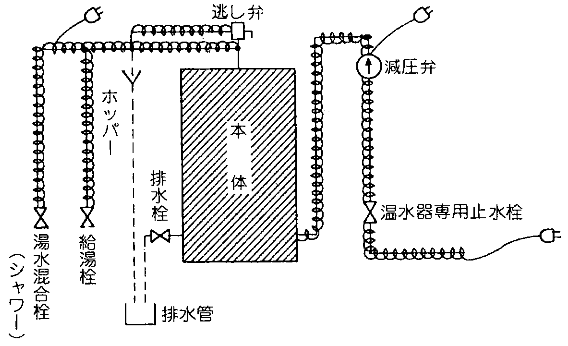
暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください

冬期は寒冷地だけでなく、暖かい地域でも周囲温度が0℃以下になる場合には配管や減圧弁、逃し弁が凍結する恐れがありますので、凍結防止対策が必要です。

凍結防止対策としては「凍結防止ヒーターによる方法」「水抜きによる方法」「少量の水を流し続ける方法」などがあります。
どの方法が施工されたのか据付け工事店に確認し、その方法によって実施してください。

凍結防止ヒーターによる方法

- 凍結防止ヒーターが図のように巻かれているかを確認します。
- 凍結防止ヒーターは何本も使用されていますので、すべてのヒーターのプラグをコンセントに差し込みます。
- 凍結しない季節は安全のためコンセプラグを抜いておきます。



凍結防止について

水抜きによる方法

配管内の水を抜く方法です。

操作手順

(1) 温水器専用止水栓と不凍結水抜き栓を閉じます。

(2) ストップバルブ(※1)を閉じ、空気取入用バルブ(※2)を開き、水抜き栓(※3、※4)を開きます。

(3) 減圧弁の水抜き栓を開き、押上棒を押します。(詳しくは減圧弁に付いている説明板を参照してください。)

(4) 逃し弁のレバーを上げ、湯水混合栓、給湯栓を開きます。

(5) 排水栓を開き、15～20ℓ程度（約2分間）排水後閉じます。

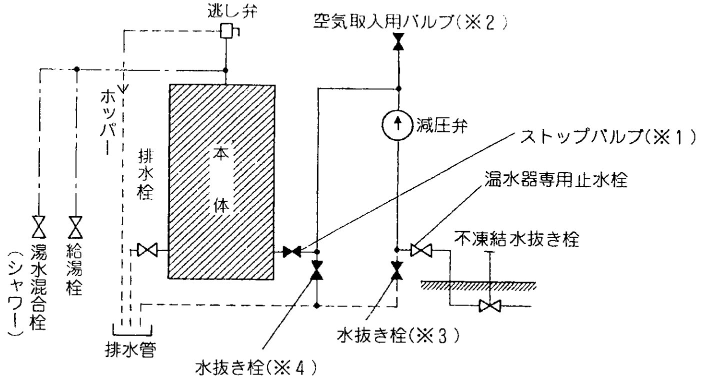
〈翌朝使用するとき〉

(1) 逃し弁のレバーを下げ、湯水混合栓、給湯栓を閉じます。

(2) 減圧弁の水抜き栓を閉じます。

(3) 空気取入用バルブ（※2）と水抜き栓（※3、※4）を閉じます。

(4) 不凍結水抜き栓、温水器専用止水栓を開き、ストップバルブ（※1）を開きます。



少量の水を流し続ける方法

配管内に水を流しながら、凍結防止をする方法です。

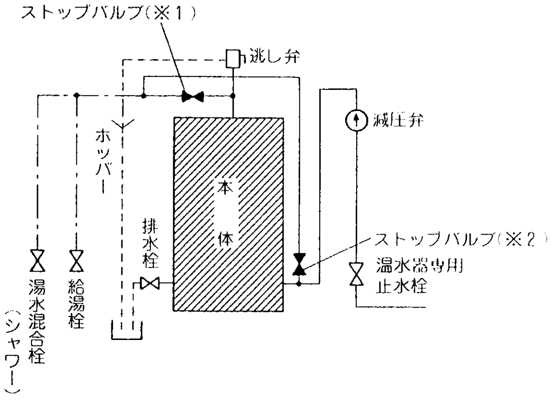
(1) ストップバルブ（※1）を閉じ、ストップバルブ（※2）を開きます。

(2) 各給湯栓・湯水混合栓を少し開けて糸ひき状態に水を流します。

〈翌朝使用するとき〉

(1) 各給湯栓、湯水混合栓を閉じます。

(2) ストップバルブ（※2）を閉じ、ストップバルブ（※1）を開きます。



減圧弁・逃し弁の指定〔(社)日本水道協会統一注意表示〕

"この機器は、労働省・労働安全衛生法施行令(昭和57.4.20政令第124号)及び日本工業規格(JIS)により、水頭圧10m以下100kPa(1kgf/cm²以下)で使用することが義務付されているため、必ず減圧弁及び逃し弁を取付けて使用して下さい。

(1) 水道に直結して使用する場合は、必ず次に掲げるもので、かつ、当該水道事業体が承認するものを使用して下さい。

① (社)日本水道協会の型式登録品で、かつ、検査合格証が貼られている減圧弁及び逃し弁

又は、

② JIS マークが表示されている水道用減圧弁及び温水機器用逃し弁

(2) 水道に直結する場合で、寒冷地用の減圧弁及び逃し弁の使用が義務付されている地域では、必ず次の表示を確認の上、使用して下さい。

① (社)日本水道協会の「型式登録品で、かつ、その検査合格証のあるもの」の場合減圧弁・逃し弁ともに、(社)日本水道協会の検査合格証に丸・寒表示がある。

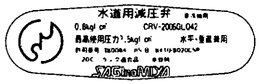
丸・寒 ラベル

JWWA

② JIS マーク表示品の場合

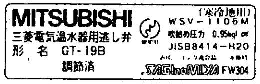
水道用減圧弁は、設定圧力80kPa(0.8kgf/cm²)とJISマーク及び「寒冷地用」の表示がある。

減圧弁のラベルの例



温水機器用逃し弁は、吹始め圧力95kPa(0.95kgf/cm²)とJISマークの表示がある。

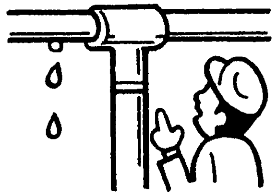
逃し弁のラベルの例



お手入れと定期点検のお願い

配管の点検（1年に1度）

配管の保温材破損や水漏れがないか、特に冬期に入る前にチェックし、異常のある場合は据付け工事店に修理依頼してください。



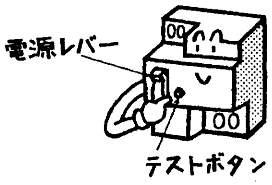
タンクのお手入れ（1～2カ月に1度）

① 排水栓を1～2分間開き排水します。
② 排水がきれいになったら排水栓を確実に閉めます。
（排水がきれいにならなかったら数回繰り返してください。）

⚠警告
排水時は、熱湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

漏電遮断器の点検（1カ月に1度）

漏電遮断器の点検は200V電源が「入」になっていることを確認してから行ってください。



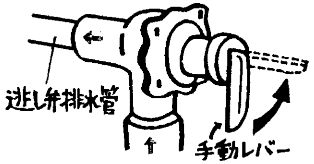
① テストボタンを押します。
「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。
電源レバーが「切」にならないときは200V電源ブレーカーを「切」にして据付け工事店にご連絡ください。
② 電源レバーを「入」にもどします。

⚠警告
漏電遮断器の動作を確認してください。故障のまま使用すると感電する恐れがあります。

逃し弁の点検（1カ月に1度）

(1) リモコンの沸き上げ中表示が消灯中に逃し弁からお湯が出ていないかを確認します。
(2) お湯が出ているときには、手動レバーを数回上下に動かしてください。それでもお湯が止まらないときは温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

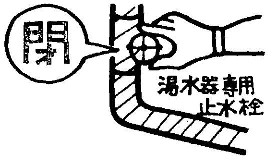
⚠警告
逃し弁排水管に手を触れないでください。
やけどをすることがあります。



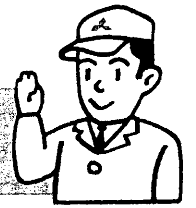
水漏れの点検

本体や、周辺配管などから水漏れが生じたときは、温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

⚠注意
マンションなど、中・高層住宅では、水漏れが起きた場合、下層階へ被害を及ぼす恐れがあります。



定期点検のお願い（有料）



- 電気温水器を少しでも長くご満足して使用していただくために、3～4年ごとに定期点検（有料）を行ってください。
- 減圧弁、逃し弁などは消耗部品（目安として3～4年）です。劣化している場合は早めに交換してください。
- 定期点検については、据付け工事店または三菱電機サービスセンターへご相談ください。

修理を依頼する前に

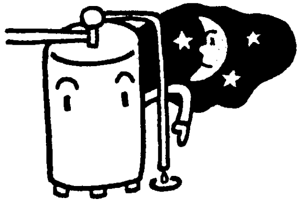
こんなときは故障ではありません。

お湯から油や臭いが出る

はじめて使うときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

逃し弁からお湯が出ている

逃し弁が正常に作動していると、リモコンの「沸き上げ中」が表示されているときに水からお湯になるときの膨張分が逃し弁から排水口へ出ます。



お湯を使わないのに「湯量ご注意」表示になる

沸き上げ湯温設定が「低」（沸き上げ湯温約55℃）のとき、外気温が低い冬期において自然放熱によって湯温がさがるため（約44℃以下）お湯を使わないのに「湯量ご注意」表示になることがあります。

ヒーターにすぐ通電されない

マイコンの働きにより、リモコン表示が夜間になってもヒーターにすぐ通電されないことがあります。

設定湯温まで沸き上がらない

夜間時間帯に湯温設定を「高」にしたり、リモコンの「沸き上げ中」が表示されているときにお湯を使用すると設定湯温まで沸き上がらないことがあります。

［給水水温10℃以下、残湯量20L未満（550Lは60L未満）の場合は90℃まで沸き上がりません。］

故障かなと思ったら

“故障かな？” と思ったときは、まず次の点を調べてください。

こんなとき	調べていただきたいこと	していただきたいこと
お湯が出ない 出が悪い	●温水器専用止水栓は開いていますか	閉じていれば開いてください。
	●断水していませんか	断水が終わるまで待ってください。
	●配管部分が凍結していませんか	とけるまで待ってください。
お湯が沸かない・足りない	●デジタル表示部の 時刻セット◷ が点灯していませんか	時刻設定をしてください。（9ページ）
	●200V電源ブレーカーが「切」になっていませんか ●漏電遮断器の電源レバーが「切」になっていませんか	「入」にしてください。
	●リモコンの表示が消えていませんか	200V電源の「入」を確認してください。
	●湯温設定は適切ですか	上のランクに切換えてください。（11ページ）
	●逃し弁の排水口からリモコンの「沸き上げ中」が表示されているとき以外に、お湯か水が出ていませんか	逃し弁を点検してください。（20ページ） 逃し弁を点検してもなおらない場合は減圧弁の故障も考えられますので、据付け工事店にご連絡ください。
	●リモコンの「沸き上げ中」が表示されているときにお湯をたくさん使用しませんでしたか	沸き増しを利用するか翌日までお待ちください。
リモコンが表示しない	●200V電源ブレーカーが「切」になっていませんか ●漏電遮断器の電源レバーが「切」になっていませんか	「入」にしてください。

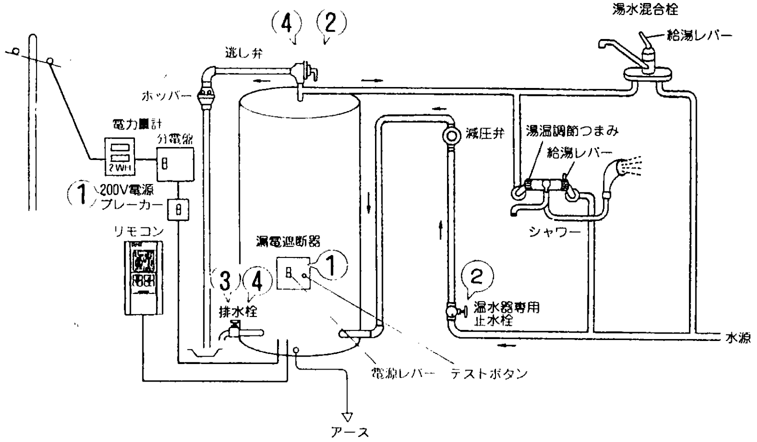
以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは据付け工事店またはお近くの「三菱電機お客さま相談窓口」へご相談ください。

長期間使用しないときは

1か月以上のとき（タンク内の水抜きをします。）

長期間使用しないとタンク内の水が変質しますのでタンク内の水抜きをします。

※水抜きは、お湯をすてるムダを少なくするため、お風呂などに給湯するなど、多量のお湯を使用した後に行います。



(1) 200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にします。
(2) 温水器専用止水栓を閉じてから、逃し弁のレバーを上げます。
(3) 排水栓を開きます。**（熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。）**
(4) 排水が終わりましたら逃し弁のレバーを下げ、排水栓を閉じます。

★再びご使用になるときは使用前の準備と給湯（7、8ページ）に従ってください。

お知らせ　**1日以上電源を「切」にするとリモコンの表示が消えます。**

1か月以内のとき（電源を切ります。）

1か月以内でも冬期凍結の恐れのあるときは、タンクや配管を破損しますので、タンク内の水抜きをしてください。

① 漏電遮断器の電源レバーを「切」にします。
② 温水器専用止水栓を閉じます。

★再びご使用になるときは次の手順で行ってください。

① 温水器専用止水栓を開きます。
② 漏電遮断器の電源レバーを「入」にします。
③ リモコンで時刻設定をします。（9ページ）
④ リモコンで湯温設定をします。（11ページ）

お知らせ　**1日以上電源を「切」にするとリモコンの表示が消えます。**

仕　様

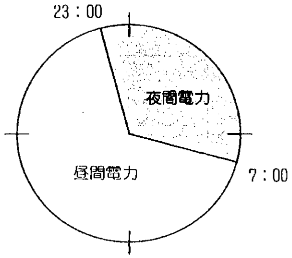
形　名		SRT-3744D-BL	SRT-4644D-BL	SRT-5544D-BL
設置場所		屋内軒下兼用		
タンク容量		0.37㎥（370L）	0.46㎥（460L）	0.55㎥（550L）
定格	発熱体	単相200V　4.4KW	単相200V　5.4KW	単相200V　6.0KW
	制御用	単相200V・約4W		
沸き上げ湯温		約55℃～約90℃		
本体寸法		高さ1673mm×φ660mm	高さ1715mm×φ720mm	高さ1995mm×φ720mm
質量	本体	約49kg	約55kg	約59kg
	満水時	約419kg	約515kg	約609kg
安全装置		漏電遮断器・温度過昇防止器・アース端子		
温度検知		サーミスター		
発熱体		シーズヒーター		
リモコン	操作	ブザー時間設定スイッチ、スタート／ストップスイッチ、湯温表示スイッチ、湯温設定スイッチ、時計セットスイッチ（時・分）、沸き増しスイッチ（50L・満タン）		
	表示	デジタル表示（時刻・湯温・ブザー設定時刻・タイマー残時間）、時間帯表示（昼間・夜間）、湯温設定表示（自動節約・低・中・高）、残湯量表示（150L以上・100L以上・50L以上・50L未満）、湯量ご注意表示、沸き上げ中表示、沸き増し表示（50L・満タン）		
	寸法	幅96mm×奥行23mm×高さ198mm		

電気料金制度について

この電気温水器は昼間でも沸き増しができる「時間帯別電灯」対応通電制御型として使用しますが、契約を変更することにより、「深夜電力」通電制御型としても使用できます。
詳しくはお近くの電力会社にお問い合わせください。

「時間帯別電灯」料金制度

1日中、200V電源が供給されます。
家庭で使用するすべての電力を、昼間電力（7：00〜23：00）と夜間電力（23：00〜7：00）に分けて計算します。一般の電灯料金にくらべ昼間電力は若干高くなりますが、夜間電力が大幅に割引されます。

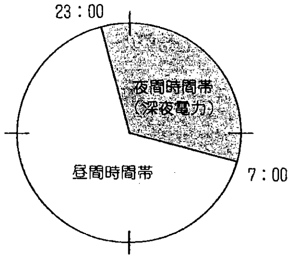


〔お知らせ〕 この製品は、電源の供給状態を監視し電力制度を自動判定する機能があります。最初の電源「入」は深夜電力としてスタートし、24時間後に料金制度を判定します。このため、時間帯別電灯料金制度で使用する場合、次の制限事項があります。

- 初日のみ、リモコンに時間帯の表示をしません。
- 初日のみ、時刻設定をしなくても沸き上げを行います。
  2日目からは、時刻設定をしないと沸き上げができません。
- 初日のみ、沸き増しができません。

「深夜電力」制度

夜間時間帯（23：00〜7：00）に200V電源が供給されます。
電気料金は、一般電灯料金の約1/3です。



〔お知らせ〕 **深夜電力制度でご使用の場合、昼間時間帯に次の機能が利用できません。**

- 50L沸き増し
- 満タン沸き増し

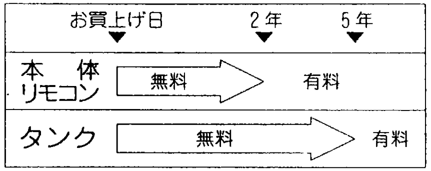
保証とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書がついています。保証書は、必ず「据付け工事店(販売店)名、お買上げ日」などの所定事項の記入を確かめて据付け工事店からお受け取りください。
- 保証書記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

保証期間

- お買上げの日から2年間です。
  （ただし、タンクは5年です。）



補修用性能部品の保有期間

- この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後10年です。この期間は(財)ベターリビングの指導によるものです。
  性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理サービス

- 製品の具合が悪いときは22ページの「故障かなと思ったら」をお読みになって今一度チェックしてください。
  それでも具合の悪いときは据付け工事店またはお近くの「三菱電機お客さま相談窓口」へご相談ください。

保証期間中の修理

- 保証期間中の修理については、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、据付け工事店が修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

- 保証期間経過後の修理については据付け工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客さまのご要望により有料修理をいたします。

ご連絡いただきたい内容

品　　名	電気温水器
形　　名	
お買上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所・お名前、電話番号、訪問希望日	

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

ご不明な点に関するご相談は

- 据付け工事店かお近くの「三菱電機お客さま相談窓口」へご相談ください。

愛情点検　★長年ご使用の電気温水器の点検を

●電気温水器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後10年です

ご使用の際このようなことはありませんか。

- 設置場所が濡れている
- お湯の出が悪い
- お湯が早くなくなる
- 時々漏電遮断器がはたらく
- その他の異常、故障がある

▷ **お願い**　故障や事故防止のため、200V電源のブレーカーを切り温水器専用止水栓を閉じてから据付け工事店に点検・修理（有料）をご相談ください。

形　　名	
ご購入（据付け）年月日	年　　月　　日
据付け工事店（販売店）名	TEL

お客さまへ…おぼえのため、形名、ご購入年月日、据付け工事店名（販売店）を記入されると便利です。

三菱電機株式会社　群馬製作所　〒370-04 群馬県新田郡尾島町岩松800　☎(0276)52-1111(代表)

T962Z135H01